



3 資料でみる歴史的分野

～郷土のおもな偉人～

長崎市・西海市・西彼杵郡

人 物	場 所	時 代	お も な 業 績
西 川 如 見	長 崎 市	江 戸	日本最初の天文・地理学者で、日本に洋学の基礎を固めた。
吉 雄 耕 牛	長 崎 市	江 戸	オランダ通詞としてオランダの書物の翻訳をした。
高 島 秋 帆	長 崎 市	江 戸	洋式砲術の産みの親で、国の守りを固めることに尽力した。
榎 林 宗 建	長 崎 市	江 戸	日本で初めて、天然痘の予防法を確立。
本 木 昌 造	長 崎 市	江 戸	日本に鉛活字の印刷を取り入れ、大量印刷を可能にした。
金 井 俊 行	長 崎 市	明 治	長崎水道の産みの親。長崎上水道の完成に尽力。
上 野 彦 馬	長 崎 市	明 治	わが国写真界の父。全国に写真を広める。
岩 永 マ キ	長 崎 市	明治大正	日本初の児童施設創始者 生涯を孤児院養育事業に捧げる。
向 井 去 来	長 崎 市	江 戸	松尾芭蕉の弟子で、「西国三十三か国の俳諧奉行」と言われた。
トーマス・グラバー	長 崎 市	江戸明治	幕末の冒険商人。家屋敷は、国重要文化財の「グラバー邸」
沈 南 頭	長 崎 市	江 戸	中国清の時代の画家。花鳥画をひろめる。
黙 子 如 定	長 崎 市	江 戸	長崎市の中島川に初めて、アーチ型石橋（眼鏡橋）をかけた。
マルコ・マリ・ド・ロ	長 崎 市	江戸明治	外海地区で、ひたすら神と人々のために一生を捧げた。
三 山 近 六	時 津 町	明 治	大村湾の海運王として、近海航路を確立。
中浦ジュリアン	西 海 市	安土桃山江戸	「遣欧少年使節」として伊東マンショ、千々石ミゲル、原マルチノらとローマへ訪れ、帰国後布教に努める。
青 木 良 悌	西 海 市	江戸明治	崎戸地区で「恵まれぬ人に希望の光を」を信念に、孤島の発展に努める。
宮 原 良 平	西 海 市	江戸明治	大瀬戸町の地にて、子どもたちの教育に一生を捧げた。
梅 屋 庄 吉	長 崎 市	明治大正昭和	辛亥革命の指導者である孫文を物心両面で支援し、革命の成功に貢献した。
楠 本 イ ネ	長 崎 市	江戸明治	日本初の女性蘭方医。シーボルトの娘。
杉 亨 二	長 崎 市	江戸明治	日本近代統計の祖。
大 浦 慶	長 崎 市	江戸明治	日本茶輸出の先駆者。
永 井 隆	長 崎 市	明治大正昭和	医師。自身も病と闘いながら、数々の著書を発表し、世界に愛と平和を訴えた。

諫早市

人 物	場 所	時 代	お も な 業 績
若 杉 春 后	諫 早 市	江 戸	諫早の救世主と敬われ、領内の住民を救うため命を懸けた。
山 崎 教 清	諫 早 市	江 戸	近世干拓の祖といわれ、諫早の海岸干拓に取り組んだ。
青木弥惣右衛門	諫 早 市	江 戸	家財を投じ、水不足の干拓地へ用水をひき豊かな水田を作った。
八十島 又 橋	諫 早 市	江戸明治	詩・書、画の名人で、優れた作品を残した。

諫早市

人 物	場 所	時 代	お も な 業 績
福田 渭 水	諫 早 市	江 戸	教育の必要性を説き、郷土の発展に尽力した。
土 橋 貞 恵	諫 早 市	江 戸	森山町で幼少より努力を惜しまず、医者として社会に大きく貢献した。
陣野甚右衛門徳昌	諫 早 市	江 戸	森山干拓の先駆者。三代にわたり一族で干拓に情熱を注いだ。

島原市・雲仙市・南島原市

人 物	場 所	時 代	お も な 業 績
松 平 忠 房	島 原 市	江 戸	島原・天草一揆（島原の乱）以後の混乱期に、人々の生活の安らぎのために尽力した。
中山 要右衛門	島 原 市	江 戸	島原の大商人。大凶作で苦しむ人々の生活の安定に努めた。
加 来 佐一郎	島 原 市	江 戸	医者として活躍し、薬園の開墾や伝染病予防に努めた。
植 木 元太郎	島 原 市	明治大正	島原半島に鉄道を敷き、郷土の発展に貢献。初代島原市長。
森 謙 治	島 原 市	江戸明治	郷土発展のため農地拡張に尽力し、農家の恩人として敬われた。
松本清左右衛門富為	雲 仙 市	江 戸	温泉岳（雲仙岳）の大爆発の時、苦しむ人々の生活を救った。
大 崎 連	雲 仙 市	江戸明治	吾妻町の新開干拓に生涯をかけ完成させた。
栗 原 玉 葉	雲 仙 市	明治大正	向学心に燃え、全国に知られた女流画家。
本 多 親 秋	雲 仙 市	江戸明治	「玄谷園」塾長として、深い郷土愛で青少年の教育にあたった。
安 永 安 次	南島原市	江 戸	親を思う心、村人への慈愛の心を常に持ち、一生懸命に働き、村の発展に貢献した。
南 喜惣治	南島原市	江 戸	この地方に初めてサトウキビ栽培を取り入れ、広めた。
永 野 萬 蔵	南島原市	江 戸	日本人初のカナダ移民。塩シャケ製造で成功を収める。
北 村 西 望	南島原市	昭 和	世界を代表する彫刻家。平和祈念像を制作した。

大村市・東彼杵郡

人 物	場 所	時 代	お も な 業 績
深沢儀太夫勝清	大 村 市	江 戸	捕鯨で得た財産を、多くの人々の利益と幸福のために使った。
千 葉 卜 枕	大 村 市	江 戸	放虎原を開墾し、大村地方の産業の発展に大きく貢献した。
大 村 純 忠	大 村 市	江 戸	戦国時代キリシタン大名として、信仰を守って生きぬいた。
長 与 専 斎	大 村 市	江戸明治	「衛生事業の親」として、各種研究施設の建設に尽力した。
渡 辺 昇	大 村 市	江戸明治	「一十百千」のがんばりで努力し、倒幕の剣士として活躍。
石 井 筆 子	大 村 市	明治大正昭和	夫の石井亮一とともに、日本の知的障害者福祉の創始者の一人。
志 満 吉兵衛	川 棚 町	明 治	コレラ患者の看護にあたり、何人もの病人を救った。
南 鷹次郎	東彼杵町	江戸明治	札幌農学校で学び、日本最初のトマト栽培を成功させた。
長 岡 半太郎	大 村 市	明治大正昭和	物理学者で、土星型原子モデルを提唱したことで知られる。

佐世保市・北松浦郡

人 物	場 所	時 代	お も な 業 績
楠 本 端 山 くす もと たん ざん	佐世保市	江 戸	自らの学問を意欲的に深め、多くの人々に教育を施した。
草刈太一左右衛門 くさかり たいいち ざ え も ん	佐世保市	江戸明治	松浦地区の新田開拓のために、干拓事業を行った。
松 尾 良 吉 まつ りょう きち	佐世保市	江戸明治	商売で得た利益を人々に戻し、社会奉仕事業に全力を注いだ。
坂 本 清太郎 さか もと せい た ろ う	佐世保市	明治大正	土地台帳作りや道路の改修事業など町政の基礎を築いた。
江 頭 又吉郎 え がら また きち ろ う	佐世保市	江戸明治	鹿町の教育と社会奉仕に一生を捧げた。
中 倉 万次郎 なか くら まん じ ろ う	佐世保市	明 治	国会議員として活躍し、「松浦線」の開通実現に尽力した。
小田伝次兵衛重利 お だ だん じ べ え しげ と し	小値賀町	江 戸	商売で得た利益を、島民のために惜しまず使った。

平戸市・松浦市

人 物	場 所	時 代	お も な 業 績
松 浦 鎮 信 まつ ら しげ のぶ	平 戸 市	江 戸	南蛮貿易の日本唯一の基地として開いた先覚者。
山 県 勇三郎 やま がた ゆう さぶ ろ う	平 戸 市	明 治	北海道の開拓王。のちに移民第一号としてブラジルに渡る。
林 テ ル りん	平 戸 市	明 治	修道院「愛苦会」を開き、不幸な人々に一生を捧げた。
白 川 仙太郎 しら かわ せん た ろ う	松 浦 市	大正昭和	村の発展のために尽力した名村長。
益富又左右衛門正勝 ますとみまた ざ え も ん まさかつ	平 戸 市	江 戸	当時、日本一のクジラ捕りとされ、生月地区の漁業の恩人といわれる。

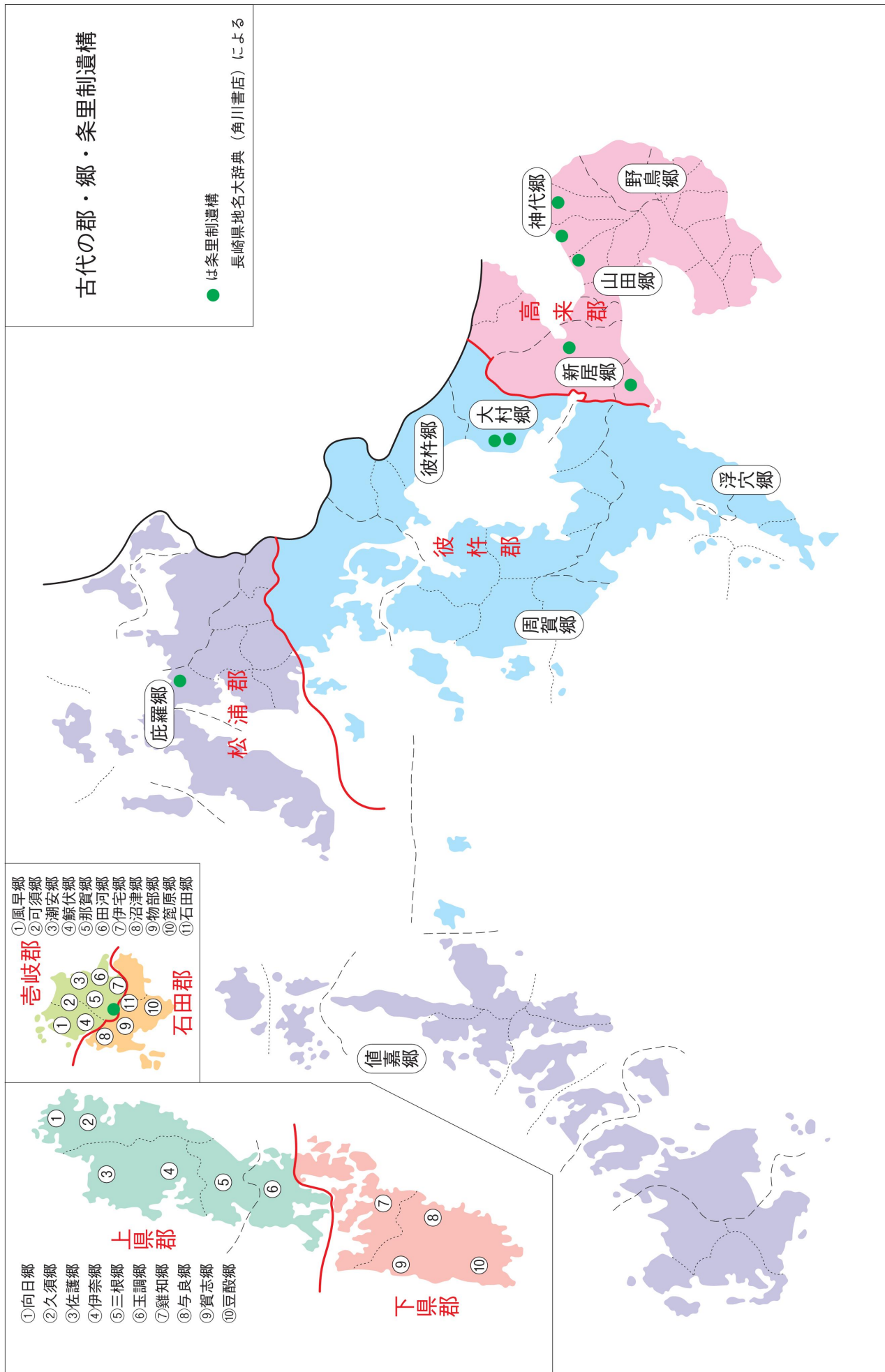
五島市・新上五島町

人 物	場 所	時 代	お も な 業 績
高 嶺 十之進 たか みね じゅう の しん	五 島 市	江 戸	各地の土木作業を進め、五島藩の産業の発展に尽力した。
近 藤 淳 吉 こん どう じゅん きち	五 島 市	明治大正	町有林や防波堤を作り、町の発展に貢献した名村長。
坂 本 幾次郎 さか もと いく じ ろ う	五 島 市	明 治	新しい漁法を開発し、村に多くの富をもたらした。
松 園 嘉三次 まつ その か ざう じ	五 島 市	明 治	「みいらくいも」育ての親として、郷土の発展に貢献した。
西村 団右衛門 にし むら だん え も ん	五 島 市	江 戸	東洋一のブリ漁場を発見し、今日の基礎を築き上げた。
宿 輪 卓 爾 しゆく わ たく じ	五 島 市	明 治	漁業協同組合を作り、貧しい島の生活を支え、発展に貢献した。
江口甚右衛門正利 え ぐち じん え も ん まさと し	新上五島町	江 戸	有川地区において江戸公訴での勝訴とクジラ捕りによる豊かな村作りに尽力した。
鉄 川 与 助 てつ がわ よ すけ	新上五島町	明治大正昭和	多くの教会堂建築を手がけた建築家。

壱岐市・対馬市

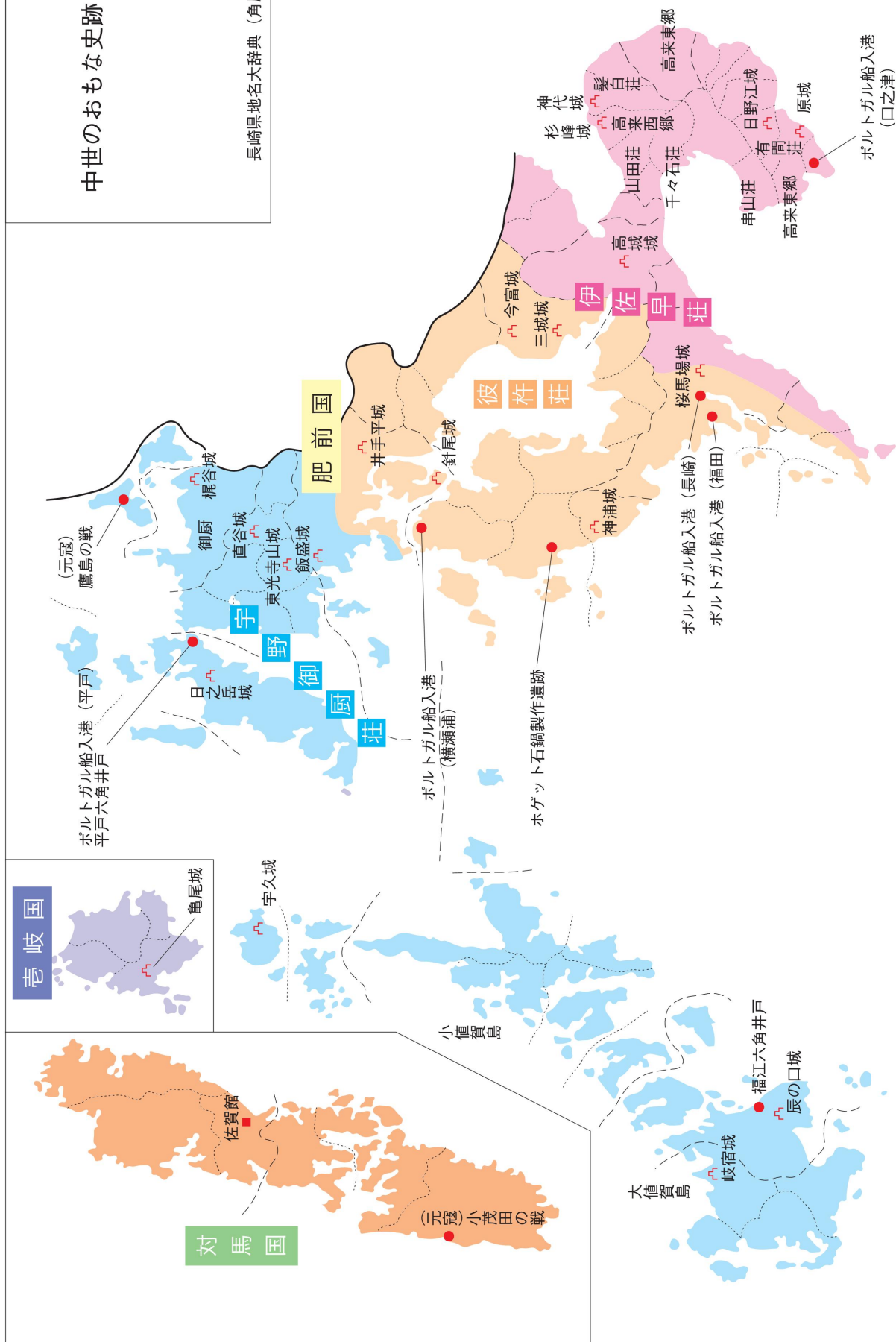
人 物	場 所	時 代	お も な 業 績
中 上 長 兵 なか がみ ちやう へい	壱 岐 市	明 治	漁の神様として、漁業に一生を捧げた。
竹 田 黙 雷 たけ だ もく らい	壱 岐 市	明 治	京都五山の一つ建仁寺の管長として活躍した。
松永安左衛門 まつ なが やす ざ え も ん	壱 岐 市	明治大正昭和	日本電力の普及と振興に努め、我が国の産業経済の発展に貢献。
陶 山 訥 庵 す やま とつ あん	対 馬 市	江 戸	「対馬聖人」と呼ばれ、村人の苦しい生活を支えた。
雨 森 芳 洲 あめ もり ほう しゅう	対 馬 市	江 戸	日本を代表する儒学者で、対馬の発展に貢献した。
大 石 阿 吉 おお いし あ きち	対 馬 市	江 戸	荒れた土地を開墾し、普請奉行として人々を支えた。
国 分 城 一郎 こく ぶん じやう いち ろ う	対 馬 市	明 治	奴加岳村(現豊玉町)の初代村長として、豊かな村作りに取り組んだ。
原田三郎右衛門 はら だ さぶ ろ う え も ん	対 馬 市	江 戸	サツマイモ栽培を、対馬中に広めた。

(1) 古代（縄文時代～平安時代）



中世のおもな史跡・荘・郷

長崎県地名大辞典（角川書店）による



(3) 近世・近代 (安土桃山時代～江戸時代)

